

科目名	生活環境学（理学療法）	担当教員	蛭間基夫 信太雅洋 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	-------------	------	----------------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義

科目概要	<p>障害児・者、高齢者が住み慣れた自宅や地域社会において自立した生活を継続することは、対象者のQOL維持・向上の上で重要である。リハビリテーションは、対象者が抱える心身の障害のみならず、住環境、地域や職場（学校）環境をも考慮した幅広い視野を持った支援が必要である。本講義では、住環境整備に関する基礎的な知識、具体的な手法のほか、「まち」の構造等についても理解し、対象者の特徴を考慮した適切な支援について考察を深める。</p>
学習目標	<p>単なる住宅内だけではなく、高齢者や障害者が生活する地域や職場とともに、都市全体をも含めた生活環境について理解すること。また、理学療法の展開や具体的支援に活かせる視点を持つこと。</p>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	環境整備の重要性、PT・OTの介入の現状	障害者や高齢者の生活にどうして物理的環境整備が必要であるのかについて説明できる。PTの住宅改善の介入状況を説明できる。	
2	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザイン	環境整備に重要な影響を及ぼす代表的なデザイン思想について実践例を通して理解できる。	
3	福祉のまちづくり1	我が国の「福祉のまちづくり」の歴史的過程	我が国の「福祉のまちづくり」の歴史的過程を説明できる。	
4	福祉のまちづくり2	我が国の「福祉のまちづくり」の現状	「福祉のまちづくり」の歴史的過程から現在の生活環境の課題を説明できる。	
5	都市構造の実態1	歩道の移動に関するPTの支援のあり方	歩道の構造的特徴により交通困難者にもたらされる制約を把握し、PTとしての具体的支援のあり方を説明できる。	
6	都市構造の実態2	横断歩道の移動に関するPTの支援のあり方	横断歩道の構造的特徴により交通困難者にもたらされる制約を把握し、PTとしての具体的支援のあり方を説明できる。	
7	海外の支援の実態	環境整備に関する海外セラピストの実態	福祉先進国とされるデンマークを例として、海外セラピストの住宅改善の介入実態を理解する。	
8	住宅改善の支援過程1	住宅改善の支援過程	複数の過程により構成される住宅改善の支援の流れを理解する。	
9	住宅改善の支援過程2	住宅改善支援におけるPT・OTの役割	住宅改善の支援過程の中でPTに求められる専門性や各過程における具体的な役割について理解する。	
10	住宅改善の支援過程3	住宅改善のプランニングの考え方と進め方	PTとして必要なプランニングの具体的方法を説明できる。	
11	具体的支援内容1	住宅改善のプランニング(移動編)	移動に関する住宅改善について説明できる。	
12	具体的支援内容2	住宅改善のプランニング(入浴編)	入浴に関する住宅改善について説明できる。	
13	具体的支援内容3	住宅改善のプランニング(排泄編)	排泄に関する住宅改善について説明できる。	
14	具体的支援内容4	住宅改善のプランニング(その他編)	その他、住宅改善について説明できる。	

15	まとめ	事例検討	住宅改善事例にて全体的な流れを説明できる。
	評価方法	筆記試験(100%)	
	教科図書	なし。資料配布する。	
	参考図書	鈴木浩編著『地域計画の射程』八潮社、2010年 東京商工会議所編『福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト改訂 4版』東京商工会議所、2016年 中島明子編著『HOUSERs』萌文社、2017年 鶴見隆正・他編『標準理学療法学専門分野日常生活活動学・生活環境学第5版』医学書院、2017年	
	学習の準備	ADLについて復習しておくこと。事前配布資料について予習すること。	
	オフィスアワー	在籍時はいつでも可能（信太）。 講義の前後の時間に対応可能であるが、相談・質問等の内容については事前に信太先生に伝えておくことが望ましい（蛭間）。	
	担当教員欄に※印を附した教員の実務経験		